

## 令和5年度 施設管理運営事業評価票

## 1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立男女共同参画センター				
所在地	宝塚市栄町2-1-2 ソリオ2 4階				
指定管理者	団体名	(特)女性と子どものエンパワメント関西	指定期間	開始日	令和4年4月1日
	所在地	宝塚市中野町4-11		終了日	令和9年3月31日
選定方法	公募		評価実施年	指定期間5年のうち1年目	
施設設置目的	男女共同参画の推進				
主な実施事業	上記目的達成のための(1)情報収集及び提供(2)諸問題に係る相談(3)啓発及び学習に関すること。ならびに男女共同参画推進を目的として活動している団体への(1)活動拠点の提供と交流・連携の促進(2)団体の育成に関すること。				

## 2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	人	55,500	50,800	55,500	30,263	55,500	34,123	55,500	37,343
b 稼働率	%	52.0	46.5	52.0	41.0	52.0	44.0	52.0	47.0
c 図書貸出率	%	49.0	45.4	49.0	38.6	49.0	44.5	49.0	43.5
d									
e									

## 3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
収入計	A	49,431	48,377	49,680	50,961
指定管理料		47,169	46,564	47,333	47,668
利用料収入	C	1,817	1,440	1,978	2,357
自主事業収入		0	0	0	0
その他		445	373	369	936
支出計	B	48,494	47,761	48,445	49,539
指定事業費		48,494	47,761	48,445	49,539
内、人件費	D	26,992	26,870	26,828	26,991
内、再委託料	E	3,503	3,555	3,679	3,917
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	937	616	1,235	1,422
利用料金比率	C/A	3.7 %	3.0 %	4.0 %	4.6 %
人件費率	D/B	55.7 %	56.3 %	55.4 %	54.5 %
再委託費比率	E/B	7.2 %	7.4 %	7.6 %	7.9 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	コロナ感染防止対策として、フリースペース、情報・図書コーナーは、引き続き利用可能人数を半数以下で運営した。その他収入は、宝塚市物価高騰等対策指定管理者継続支援金を含む。
------	--

4 評価

注)自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価		
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A A A	A A A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A A	A A	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A A	A A	
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A A	A A	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	A A	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A A	A A	
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A A A	A A A	
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A	
	《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設_項目】	A	A	
	②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A A	A A
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A A A	A A A	
事業運営		事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A A A	A A A	
維持管理		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A A A A	A A A A	
環境配慮		省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A	
広報活動		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
苦情等対応		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A A	A A	
利用者アンケート等		利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。 利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A B	A A	
《 総括 》		「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設_項目】	A	A	
③安定性		経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A	
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設_項目】	A	A		
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	稼働率は、ほぼコロナ禍以前にまで回復したが、活動を休止している利用登録グループが複数あり、次年度も定期利用が見込めない。ホームページをリニューアルする際に、貸室案内をわかりやすくPRに努めたい。 2年間未実施だった親子で楽しんでもらうイベント「エル・フェスタ」を8月に3年ぶりに開催した。利用登録グループによる講座、子ども向け工作などがあり、子育て中の方にセンターを知ってもらう機会になった。学習事業においては「単身、非正規雇用の女性の困窮」や「性の多様性」「男性の子育て」などの社会問題について、講演会や上映会、写真展(フリースペースにて)様々な手法を用いて実施した。				
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	社会課題の情報収集に努め、それを反映したテーマ設定を行っている。引き続き、男女共同参画社会の実現をめざした事業を実施するとともに、市民の理解が深まるよう最適な講師選定に努めてほしい。なお、利用人数は、目標に達していないが、回復基調であり、コロナ禍においては妥当な水準であると考えている。				
前年評価	A	総合評価	A		

※評価区分

評価基準:	S	=	協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	=	協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	=	協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	=	協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	=	評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	=	評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	=	自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。